

AV MATERIAL

ニュースクリップ & 映像教材

文部科学省情報

■令和4年度「こども霞が関見学デー」

文部科学省や各府省庁等が連携し、子供たちに、政府の施策に対する理解を深めてもらうこと等を目的に標記見学デーを実施する。

<日程>令和4年8月3日(水)・4日(木)

<内容>各府省庁等の特色を生かし、子供たちを対象に広く社会を知るさまざまなプログラムを設け、一斉に「こども霞が関見学デー」として実施。当日は、事前予約制による人数制限や検温を実施するなど感染症予防対策を講じ、オンラインでのプログラムを組み合わせる予定。

<問い合わせ先>文部科学省総合教育政策局地域学習推進課家庭教育支援室

TEL 03-5253-4111 (代表)

■文化庁「著作権契約書作成支援システム」の構築について

文化庁では、著作物の創作又は利用を職業としていない人でも著作物の利用許諾等に関する契約を簡単に行えるよう、平成18年度より、著作権契約書のひな形を半自動作成する「著作権契約書作成支援システム」をウェブサイトにて公開している。公開から10年以上が経過し、当初想定されなかったSNSをはじめとしたインターネット上のプラットフォームにおける著作物の制作や二次利用が増えているため、時代の変化に合わせたひな形の見直しを行い、新たに「著作権契約書作成支援システム」を構築し、令和4年4月1日より <https://pf.bunka.go.jp/chosaku/chosakuken/c-template/>に公開した。

<問い合わせ先>文化庁著作権課

TEL 03-5253-4111 (内線3169)

AV情報

■「第6回通信・放送Week」開催

RXJapan (株) 主催による標記展示会が開催される。

<日程>令和4年6月29日(水)～7月1日(金) 10:00～18:00※最終日は、17:00終了。

<会場>東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-11-1)

<内容>5G/IoT、光通信、4K・8K映像技術、映像伝送等の最新技術の展示他。要事前申込。

<問い合わせ先>RXJapan (株) コンテンツ東京
TEL 03-3349-0599

学会情報

■AI時代の教育学会「2022年度第1回研究会」

AI時代の教育学会では、「各教科等における情報活用能力の育成／一般」をテーマに標記研究会をオンラインにより開催する。

<日時>令和4年6月18日(土) 13:00～16:30

<内容>学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力の育成についての研究発表、実践発表、シンポジウム等。要事前申込。

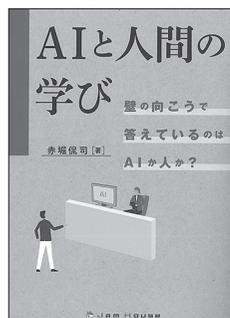
<問い合わせ先>AI時代の教育学会

TEL 03-6205-4531

■日本教育メディア学会「2022年度第1回研究会」開催

日本教育メディア学会では、「探究的な学びや主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニ

■ ブックレビュー

『AIと人間の学び
壁の向こうで答えているのはAIか人か?』

赤堀侃司 著
 ジャムハウス 発行
 2022年4月28日発行
 四六判、264頁
 1,870円(税込)

いま私たちの暮らしは、さまざまな場面でAIやビッグデータ解析等によって支えられている。アクセルやブレーキを調整しなくても車間距離を自動で調整してくれるようになり、インターネットで検索しなくても自分好みのニュースや商品を推奨してくれるようになった。10年前、20年前と比べて、私たちの負担は格段に軽減され、便利になってきている。一方、こうしたAIの技術革新は、これまで人間が担ってきた仕事を奪ってしまうのではないかと懸念も示されている。人間とAIそれぞれのストロングポイントは何か、それらを生かすにあたって人間にはど

のようなことが求められるのかといった課題に答えてくれるのが本書である。

本書は4章で構成されている。まず「第1章 AIと学習システム」では、AIの特徴を知る前提として、コンピュータが学び、考えるとはどういうことなのかを、これまでの教育工学や認知科学等の研究知見をもとに概説している。「第2章 AIと人の特徴の概要」及び「第3章 具体的なAIと人の違い」では、さまざまな場面の関わりについて調査実験を行い、そこで導き出された人間とAIの特徴が示されている。そして「第4章 AI時代の学習方法」では、人間とAIの比較をもとに、今後人間に必要とされる学習指導について提言されている。総じて、これまでの研究知見を、ふんだんな事例を交えてかみ砕いて説明されており、とても読みやすい。また、各章や項には、大学生向けに思考を深めることを考慮して、著者からの26の問いが示されており、その課題解決を通して社会とAIのあり方を探究することができる。

本書を通して、AI時代の学びや教育のあり方が広く共有されるとともに、未来の教育を考える契機になることを期待したい。

(北海道教育大学大学院教授 姫野完治)

ング)の実現におけるメディアの活用／一般」をテーマに標記研究会を開催する(コロナ禍の状況により、オンライン開催となる可能性有)。

<日程>令和4年7月10日(日)

<会場>東京学芸大学(東京都小金井市貫井北町4-1-1)

<内容>「探究的な学びや主体的・対話的で深い学びの実現におけるメディアの活用」をテーマに、その理解を深める研究、発表等。要事前申込。

<問い合わせ先>日本教育メディア学会事務局
 明星大学今野研究室 MAIL office@jaems.jp

文部科学省選定作品

■ 4月選定 DVD 紙 紙しばい

特別選定「結城紬—本場結城紬技術保存会のわざ—」47分<中学校、美術／高等学校、芸術(美術、工芸)／少年・青年・成人、教養・情操(伝統工芸)>(株)桜映画社

「おせんべ やけた!」 8枚<幼児、教養>(株)童心社

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm

*本欄掲載のイベント開催等の最新情報は、主催者<問い合わせ先>に、ご確認ください。